

第63回県高総体総合開会式

(平成23年6月3日)

かきこまり陸上競技場



第7回神の島公園

あじさい祭り

(平成23年6月5日)

小神小学校体育館



対岸プロック地域の集い
(平成23年7月3日)
長崎サンセットマリナー



夏の恐竜特別展
「ティラノサウルスセレモニー」
(平成23年7月9日)
長崎市科学館



建設水道委員会報告(要旨) 6月29日～7月1日

★【単独】公園施設整備事業費(野母崎総合運動公園) : 2,800万円

「のもぎき水仙まつり」の主会場である野母崎総合運動公園において、水仙の花付きが年々悪くなっているため、水仙園の再整備を行う。

●事業内容: 花壇整備(A13, 000.0㎡)、水仙植栽

●事業期間: 平成23年度～24年度

★矢上大橋有料道路無料化社会実験費: 3,000万円

矢上大橋有料道路において、生活道路としての利便性を高めるとともに、国道251号を利用する歩行者等の安全性を向上させるため、長崎県の協力を得て、朝の通勤通学時間帯において無料化社会実験を実施し、効果の検証を行う。

長崎県は23時から翌6時まで無料。

●時間帯: 午前6時～9時

●事業期間: 平成23年8月～平成24年3月(予定)



無料化社会実験が行われる矢上大橋料金所

長崎市営住宅条例の一部を改正する条例

1. 子どもが安心して住むことができる公営住宅を供給するため、公営住宅の一部を子育てに適した公営住宅として指定し、期間を定めて子育てをしている者を入居させることとしたのと、公営住宅を明け渡そうとする者を優先的に選考して入居させることとした。
2. 公営住宅の入居者の生活状況を勘案し、高額所得者に対する明渡請求に係る規定を見直したい。

改選後初の施政方針!

改選後初の施政方針で田上市長は、取り巻く環境が大きく変わる中で、①雇用と暮らしを支える「経済」をより強くする②長崎の「まち」の形を決める③「まちを支える仕組み」を変える重要な時機にきているとの認識を示しました。市政運営の方向性は、「長崎を進化させる」と掲げ、時代や環境の変化にあわせて、今までの形を変えながら前に進んでいく、長崎市がめざす

将来の都市像を「個性輝く世界都市希望あふれる人間都市」と示し、市民企業、大学、行政などと連携をとりまちなぎりを進めるとの方針が述べられました。平成23年度の当初予算は、第4次総合計画の初年度である事から道筋をつける予算と位置付け、補正予算は経済を強くするための事業、中国をはじめとするアジアとの交流を促進する事業などに重点を置いて編成した。また、

活力あふれる 住みよい長崎!

長崎市議会議員

しげ ひさ No.21 井上重久 だより



平成23年8月 発行責任者 井上 重久 編集責任者 大當飛雄馬 長崎市水の浦町1-1 TEL095-861-6032



写真は「2010とびと祭り」のステージ! 今年は、若大将「加山雄三」をゲストに招き、8月28日(日)水辺の森公園にて夏祭りを開催!



夏の風物詩として定着、地域の伝統行事が引き継がれているペーロン! (写真は7月3日に行われた神の島ペーロン大会)

編集後記

▼東日本の大震災は、東北地方広域に被害が発生し第一次産業・第二次産業に壊滅的打撃を受け、大津波・原発事故による風評被害や電力の需給バランスが崩れている。各自治体の財源が厳しい中で、道路復旧・架設住宅建設など生活再建に向けた復興計画がスムーズに出来るのか懸念されている。国政は、政局論争より政策論議を行い、早期に二次・三次補正予算の執行でこの国難を乗り越えてもらいたい。

▼サッカーの女子ワールドカップ(W杯)にて「なでしこジャパン」(世界一となり金メダルを獲得。過去の対戦で一度も勝った事が無い米国に、PK戦3対1にて競り勝ち、体格で勝る強豪を粘りと諦めない不屈の精神で、日本に明るい話題を提供してくれた。何度も放映される、PK戦1本目のゴールキーパーの右足によるセーブ、勝利への執念がなせる奇跡を垣間見た。そして、被災地だけでなく日本の各地に感動と勇気を与えてくれた。何事も粘りと諦めない気持ちを持ちたいものです。

ご相談は お気軽に!

長崎市議会議員 **井上重久**

自 宅 長崎市大浜町408 ☎ 865-3553
生活相談室 長崎市水の浦町1-1 ☎ 861-1985
<http://inoueshigehisa.net/>

防災対策特別委員会!

さる3月11日に発生した東日本大震災は、これまでの予想をはるかに超える規模の地震・津波、原発事故により東北沿岸部に壊滅的な被害をもたらしました。この大震災を契機として、市議会は長崎市における防災対策の現状と問題を把握し、大規模災害が発生した場合に被害を少なくすることを目的として防災対策特別委員会を設置しました。

今後の主な調査内容は、防災対策の現状と課題、都市防災機能向上、市民や地域防災力の向上、災害に強いまちづくり等について原則月1回のペースで調査をする事にしています。長崎大水害から29年、安全安心なまちづくりに向けて、皆様方のご意見・ご指導をよろしくお願い申し上げます。

長崎市議会議員 **井上 重久**

平成23年第3回定例会(6月議会)開催!

補正総額11億3,788万円(一般会計10億6,473万円含む)
30議案可決・同意!



長崎市議会平成23年第3回(6月議会)定例会は、6月20日から7月7日までの18日間の日程で開催されました。今議会の補正予算は、平成23年度一般会計(約10億6,473万円)、観光施設事業特別会計(2,670万円)、病院事業公営企業会計(4,644万円)が上程され、条例改正では行政組織の各部の上位に「総務局」「市民局」「経済局」「建設局」を置く「局制」を8月に導入する長崎市政務分掌条例の一部を改正する条例、専決処分報告など30議案を可決・同意しました。
また、議員提案の「未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書」「避難施設における防災機能の整備の推進を求める意見書」を可決、人事案件の副市長については、三藤義文氏、古賀友一郎氏がそれぞれ選任されました。

補正予算の主な内容

一般会計

10億6,473万円

(★は新規事業、◆は拡大事業)

★アジア等販路拡大事業費

1,000万円

経済成長が著しいアジア諸国をターゲットにしたマーケティング動向調査や地場企業と連携した食品等の試験販売・商談会を実施するとともに、海外向け情報発信のための中小企業ウェブサイトの多言語化に対する助成等を行い、中小企業者の販路開拓・拡大を支援する。

◆商工業振興対策資金預託金

9,720万円

東日本大震災の影響により業況が悪化している中小企業者の早急な資金繰り・経営の安定化を目的として、長崎市中小企業災害復旧等支援資金に「東日本大震災影響枠」を創設する。

●融資要件

●国・東日本大震災復興緊急保証制度の認定を受けていること

●融資枠

1億9,440万円

●事業期間

平成24年3月31日まで

★【補助】耐震化推進事業費

(市民会館) 930万円

平成21年度に実施した耐震診断において概ね耐震性能を充足していたものの、4階部分の耐震値が下回っているため、耐震補強工事に伴う実施設計を行う。
●事業年度 平成23年度、24年度



市民懇話会にて建て替えが検討される市役所本庁舎

★市庁舎建替検討費

120万円

市庁舎の建替については、本年2月に現在地から公会堂を含めたエリアにおいて検討する旨を公表していることから、市民懇話会を設置し、市庁舎の建替場所や必要な機能について検討する。

- 市民懇話会 4~5回開催
- 市民アンケートの実施

★子ども広場事業費

1,209万9千円

松山児童センターの休館に伴い、子どもに安心して過ごすことのできる場を提供する。



耐震性が低いことが判明した長崎市公会堂

●開設場所 長崎西洋館3F
●供用開始日 8月5日(予定)
★公会堂等文化施設あり方検討委員会費 60万4千円
耐震性が低いことが判明した公会堂をはじめとする市内の文化施設について、市庁舎建替えに向けた検討との整合を図りながら、市民ニーズの高い音楽・演劇等専用の中・小ホールや練習場など必要な機能等に係る市民委員会を立ち上げ検討する。



耐震補強工事が予定される市民会館

★東日本大震災支援費

4,100万円

平成23年3月11日の東日本大震災の発生以降、被災地への職員派遣や被災者の受入等については、予備費により対応していたが、7月以降の経費について予算を計上する。



住宅地等が津波により流出した石巻市南浜町付近の被災地



何百台もの被災車が集められている仮置場



がれきの仮置場となっている地盤沈下した渡波冠水地域

「地域活性化セミナー2011」にて現地視察

7月14日から15日の2日間「地域活性化セミナー2011」に参加し、さる3月11日東日本大震災で被災した石巻市・仙台市の現地視察を行い、震災時における議会と行政の在り方について意見交換しました。大震災から4カ月を経過するなか、宮城県内での死者は9,200名を超え、石巻市内の死者は3,100名全体の3分の1を占めており、まさに壊滅的な地域となりました。大津波による被害は想像を絶するものであり、自然災害の怖さをまざまざと見せつけられ、生活再建に向けた国・県などの支援・援助が一刻も早く必要と感じました。

★地域防災マップ作成費

215万円

地域住民が地域の危険箇所や避難場所を確認し、災害時の避難経路などを話し合いながら地域防災マップを作成することにより、自助、共助意識を高めるとともに、防災意識の向上や自主防災組織の活性化など、地域防災力の向上を図る。

- 対象箇所 中島川石橋群 6ヶ所

★【単独】観光施設ライトアップ設備LED化事業費

1,300万円

★「孫文・梅屋庄吉と長崎」発信事業費 393万3千円
辛亥革命100周年の今年、長崎歴史文化博物館の特別企画展「孫文・梅屋庄吉と長崎」の開催に合わせ、長崎県と共同で上海・北京などの主要都市においてPR及び誘致活動を行い、特別企画展の集客と東日本大震災の影響により減少している中国からの観光客の増加を図るとともに、孫文の生誕都市である中国・中山市との交流を推進する。



中島川石橋群6ヶ所の老朽化した投光器等をLED化する(写真はめがね橋)

◆災害対策活動費

1,155万2千円

土砂災害や浸水災害など災害種別ごとの避難勧告等の具体的な判断基準を定めるとともに、気象情報や消防団員が実施する災害危険箇所の巡視による現地情報を的確に提供することにより、地域住民の災害時における安全を確保する。